

市立養護老人ホーム

全面改築ほぼ終わる

作業棟も併設



新装なった食堂で食事をされる福寿園のみなさん

■朝倉町にある市立養護老人ホーム福寿園の改築がほぼ終わり、二月五日に引越しをしました。
 ■福寿園の改築は、ここ数年来、市政の懸案であったもので、延百九十九人の方から約八百万円の寄付も寄せられていたものです。

■完成した建物は、旧寮棟の敷地に建てられました。外観がクリーム色をした鉄筋コンクリート造り平屋建て(一部二階建て) 延面積一千二百八十三平方メートルです。その広さは、旧建物の約二倍となりました。

■新しい建物は、全館が冷暖房を完備、平行に並んだ寮棟A・B、管理棟が廊下によってつながり、「ヨ」の字型に配置されています。

■寮室二十五部屋は、これまでの二人四畳半が六畳になり、個人別の収納庫が備えられました。

また、約三十畳の部屋に、舞台をつけた集会室と、その隣りにほぼ同じ広さの洋室の食堂があり、これまでのものより、グリーンと広くなったほか、廊下や階段などには、すべて手すりがつけられています。

■旧建物は、昭和二十九年の木造建物、その後、三十二年に増築、三十九年に増改築をされたものの、老朽化がはげしく、特に、寒いときの暖房には、困っていたものです。

■現在、引き続き寮棟の建設工事と、作業所(百平方メートル)を建設中で、三月末日には、すっかり改築を終る予定です。

■新しくできる作業所は、ここを市内のお年寄りにも利用してもらって、「生きがいと創造の事業」を始めます。これは、陶芸、手芸、みそづくりなどをしながら、お互いに喜びを味わおうというものです。

両市の文化・友情の交流 パンプローナ市 全面的な賛意を得る

パンプローナ市親善訪問

山口市が市制五十周年を記念し、実施したスペイン・パンプローナ市親善訪問(団長堀山市長、団員十四名)は、同市の首脳などを四月十日に行われる市制五十周年の記念式に招待するなど、多くの成果をあげて、二月六日帰国しました。

一行がパンプローナ空港に降りたつと、同市の首脳御夫妻が出迎え、到着の夜は歓迎パーティを催され、翌日のサビエル



パンプローナ市役所で、同市民の象徴、赤いハンカチを首にまいてもらう堀山市長

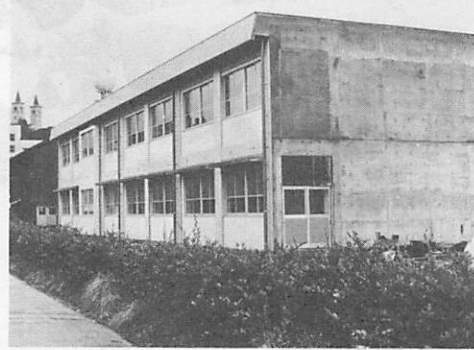
市のあるナバーラ県の知事に、記念式に招待したのに対し、選挙などの都合があるとしても(市長選は四月三日)個人としては出席したいとの返事がいただけ、会った人は、今後の両市の文化と友情の交流には両手をあげて賛成されました。

城やサビエル資料館の見学は、市長夫妻が案内するなど、大歓迎を受けました。パンプローナ市長、議長、同



パンプローナ市の市街地。中央にみえるのは大聖堂。市街地には、中世の建物がたくさん残っているということです。

城には、宣教師サビエルの日本における足跡を示す地図がかかげられ、山口の地名がみえるほか、パンプローナ市の近くのサングエッサ市に「レストラン・ヤマグチ」もあり、また「大内義隆」の名や「三田尻」の地名を正確に発音する人もいて、一行を驚かせました。パンプローナ市は、ナバーラ県で人口十七万人。中世に栄えたナバーラ王国の遺跡を残す古都の周りを、近代的な町並みがとりまき、大変美しい町という事です。今後、両市の国際交流については、両市の全面的な賛意を得ただけに、四月十日代表が来山するのを機会に、姉妹都市緑組の話に発展することが期待されます。

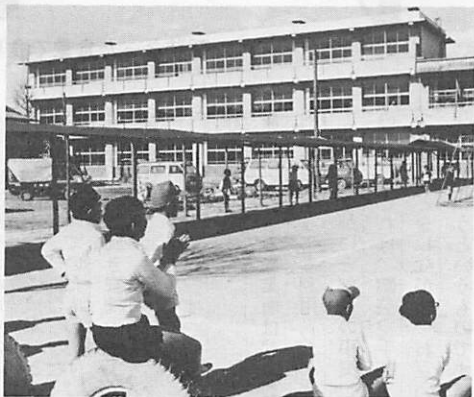


完成した白石小学校舎

白石・大内小の改増築 二月二十日に完工

百三十三平方メートル、一階に、職員室、事務室、放送室、保健室、

教材室、二・三階に八教室が配されたものです。工費は一億六千百万円でした。両校舎とも、南にベランダをとった明るく、三月の初旬には、新校舎にうつる予定です。



完成した大内小学校舎

三月十日から 運行を開始

市営バスでは、三月十日から市内定期観光バスの運行を再開します。

運行時間は、湯田温泉発 午前八時五十分、山口駅発 午前九時五十分、湯田温泉発 午後一時五十分、山口駅発 午後二時五十分の二便で、コースは、常楽寺雪舟庭、香山公園、サビエル記念聖堂をまわるものです。

運行期日は、三月十日から十一月三十日まで毎日午

前、午後の便を運行、十二月一日から二十五日までの日曜日のみ、午前の便を運行、一月一日から三日まで毎日午前の便を運行します。

運賃は、湯田温泉から、大人八百五十円、学生八百二十円、子供二百六十円で、山口駅から大人七百二十円、学生六百九十円、子供百九十円です。

完成した校舎は、鉄筋コンクリート三階建て、延べ面積千三

市内市営定期観光バス



よくみれば なずな花咲く 垣根かな
— 芭蕉 —

暖冬といわれた今年でしたが、冬はもうおわり、いよいよ春です。卒業・進学・就職など、最もたいせつな月です。反省とよりよい新出発の門出をしたいものです。

— 3月のこよみ —

■ひな祭 3日、桃の節句ともいい、ひな人形をかざって、女の子の幸福と健康を願う行事です。白酒を供え、草餅を食べるのが今に残る習慣ですが、今年は暖かい冬でしたので、草餅用のよもぎも、摘める程伸びていることでしょう。

■耳の日 3日、耳の衛生の日です。春さきには、よく耳の病気が多くなるといいます。耳の痛み、耳鳴りなどのする人は、すぐ医者に診てもらいましょう。また子供の耳についても、よく気をつけて、春休みなどを利用して、治療をしておきましょう。

■春の彼岸 18日が彼岸の入り、21日が中日で、春分の日、この日は自然をたえ、生物をいつくしむ日とされています。家々では祖霊をまつり、墓参りなどをします。

■子供 春休みは、卒業、学年の修了など、子供たちも、解放感と同時に気持ちのゆるみも出るときです。交通事故や不良行為のないよう、親はよく気をつけてやってください。

長友光正雄▽佐山出張所付萩野幸次郎(佐山出張所長)

△三等級▽
▽大歳出張所主任秋本猶正(体育課庶務係長)▽大内保育園長田村五郎(楠木保育園長)

市制50周年記念
標語・論文の入選作きまる

伸ばそう明日へ
市民が築く山口市
標語・優秀作・大野愛子さんの作品

市制五十周年記念事業の一つとして市が募集をした標語と論文の入選作が決まりました。
標語は二十二点、論文は十一の応募の中から、優秀作各一点、佳作各二点が選ばれたものです。
表彰式は、二月十九日市役所で行われ、堀市長から、入賞者に表彰状と金一封が贈られました。
入賞者の方々は、次のとおりです。

佳作
題名「山口市政への提言」
浅原 侑治 湯田温泉五丁目

優秀作
標語「伸ばそう明日へ
市民が築く山口市」
大野 愛子 中園町

論文

優秀作
題名「これからの山口市」
小柳 三次 朝倉町

佳作
標語「伸ばそう山口市」
郷土の発展みんなの手で」
大野 春夫 湯田温泉五丁目

なお、論文の部の優秀作は、全文を次頁に掲載いたしました。

佳作
標語「受け継ごう
自然と歴史と人の和を」
大谷ヤス子 平井

退職予定者の後任
人事異動
広域水道の設置

二月十三日付

市では、二月十三日付で人事異動を行いました。今回の人事異動は、昭和五十三年度末退職予定者の後任人事と、山口・小郡地域広域水道企業団準備事務局の設置に伴うもので、四等級(係長・主任)以上の異動は、次のとおりです。

△一等級▽
▽企画部付山田伴臣(水道局次長)▽建設部長末村勇二(仁保公民館長・併仁保出張所長・仁保生活改善センター館長)▽宮野公民館長・併宮野出張所長・宮野財産区事務所長古屋良一(福祉課長)▽教育委員会事務局付篠原秀夫(宮野公民館長・併宮野出張所長・宮野財産区事務所長)▽同日野出博(教育次長)▽同宮村祝夫(吉敷公民館長・併吉敷出張所長)▽教育次長兼総務課長岩本達夫(総務課長)▽監査委員事務局長田中重雄(建設部長)▽監査委員事務局付中村豊(監査委員事務局長)▽鑄銭司公民館

△二等級▽

水道局

△一等級▽
▽水道局長次長兼総務課長一宝尚二(交通局次長)

△二等級▽

▽業務課長伊藤敏夫(浄水課長)▽浄水課長倉橋望(宮野出張所主任)

消防本部

△二等級▽

▽消防本部付井上崇(消防課長)▽消防課長紫崎敏夫(総務課消防団係長兼消防副署長)

△三等級▽

▽総務課消防団係長清水孝一(消防署第一小隊長)▽予防課調査係長坪郷典男▽消防課消防係長伊坂悌二(消防署第一小隊分駐所分隊長兼救急隊長)▽消防署第一小隊長則近実(消防署第一小隊第一分隊長)

市制五十周年記念論文優秀作

「小柳さんからの山口市」

小柳三次(朝倉町)

はじめに

戦国の雄大内氏が山口のまちを開いてから六百余年、その後、幕末から明治維新にかけて倒幕の策源地となり、昭和四年市制施行から五十周年を迎えた。山口市は、高度経済成長の波に

も汚染されることなく、美しい自然環境をいままもって温存する田園都市のたまたまをみせている。

自主と連帯の

風土づくり

先祖から受け継いだ郷土を維持し、発展させ、次の世代に引継ぐことは、それぞれの地域を担う一人ひとりの活動に期待するほかない。

住民の心と心が連帯感で結ばれ、行政と役割を分担しながら共通の目標に向かって、自主的かつ創造的な活動を展開していくような自主と連帯の風土づくりを進める必要がある。

そのためには、住民の間に、人間的なふれあいと、心の結びつきが存在する豊かで住みよい地域社会の構成が必要になってくる。

魅力あるまちづくり

山口市は、全国の県庁所在地の中で、人口が最も少なく、県の調査では、昭和五十三年六月現在の推計人口は、十一万百十九人と発表されている。全国で

最少人口の県庁所在地で、下から二番目の鳥取市が十二万五千余人というから、山口市の最下位は、当分ゆるぎそうにない。人口は、市勢振興の原動力であり、活力あるふるさとづくりの礎でもある。人口のある程度集積がないと、地域社会の円滑な運営は望めない。

豊かな緑、澄んだ空気、きれいな水などに恵まれた自然環境



小柳さんが、山口市に立地が最適とし、指摘したは箇所では、国際電々山口衛星通信所のアンテナ、業務の拡張に伴い、アンテナが大小3つも設置され、何か「明日を開く」感じさを与えます。

は、全国の主要都市にくらべ遜色のない山口市である。

老後を静かに過ごす定住地として選択する人は多いようであるが、活気にみちた生産年齢層には、公務などを除き、雇用基盤が弱い弱な中小企業が多い山口市に、定着の魅力を感じないというのが定評となっている。

ふるさとを愛する心は、生まれ故郷で就業の場を持ち、地域社会に貢献したいというのが、

四次産業への指向

統計によると、山口市の労働

老若男女を問わず普遍的な心情である。こうした市民のニーズに呼応して、雇用の場の確保と生産基盤の整備に行政の目を向けることが、市勢振興の今日の課題ではなからうか。

人口は、約五万人といわれている。

そのうち、一次産業の農林水産業が二十割、二次産業の工業、建設業などが十五割、そして商業、サービス、公務などの三次産業が六十五割と、そのウエイトが高いのが特徴となっている。

水、港、土地、交通など自然条件に恵まれない山口市は、必然的に第一次、第二次産業に多

くを望むことはできない。第三次産業は、県庁所在地という関係もあって高いのは当然のことながら、時代のニーズは、教育、文化、研究、情報などの第四次産業といわれる部門へ移りゆく情勢である。

山口市は、県内他都市の追随を許さない第四次産業指向への公的指導研究機関が集中している。その主導的役割を果たす山

口大学や博物館、図書館などの文化センター、農林、商工、衛生関係の研究指導機関があり、これらの機関の研究は、附加価値の高い知識集約型産業への開発に大きく寄与できる素地をもつものといえる。

公害のすくない山口市は、精密機器やエレクトロニクスなどの科学技術の粋を集めた知識集約型産業の立地に最適の地といえる。

通信、放送設備の最高峰といわれるインテルサットは、きしむ第四次産業の最たるものとして、その存在価値は大きい。

山口・小郡の合併促進

山口市と小郡町、近くて遠い二つのまちである。過去に幾度

か合併の機運はあったが、山口市の思惑と小郡町の自治意識がうまくかみ合わず今日に至っている。山口市にとっては、県都の表玄関が他人さまの土地という気兼ねがあり、小郡町は山口市に囲まれた租界地といった違和感がある。

近年の交通事情の拡充整備は大方の地域住民に、自治体が異なる意識をうすれさせ、山口、小郡は一つという、古くて新しい問題としてアプローチしてきている。

山口市は建替えがきままっている県庁をはじめ、国の出先機関など行政の中心地であり、教育研究の面では山口大学を頂点とする学都、それに、亀山山ろくに建設中の美術館をはじめとする文化ゾーン、観光中継地としての湯田温泉街があり、一方小郡町は、新幹線などの各種交通機関の要衝であり、人と物の流動の県下最大の拠点である。

近時は卸売関係業の進出も目立ち、問屋センターの様相を深めてきている。それにこのたび、国の事業で、西日本でも有数の大規模流通センターの建設構想が発表されるなど、山口県中央部のストックポイントとしての重要性がますます加わりつつある。

山口、小郡の合併は、双方の都市機能に欠けるものを相互補完し、均衡のとれた都市づくりに役立つばかりでなく、相手方の違和感を解消し、さらには南部穀倉地帯の住民の利便と福祉を大きく前進させる効果も大きい。

これからの進路 中核都市の実現へ

実現させたい

中核都市構想

県中央部に位置する山口市、小郡町、防府市、それに周辺の町村を包括する中核都市構想は山口県が広島・福岡の大都市経済圏の谷間とならないための中核管理都市づくりでもある。

山口市は県都といっても、その都市規模が貧弱なため、県内につらなる十指に余る中小都市の中核とはなり得ず、ためにそれらの都市の経済活動のネックを隣県の手にゆだねているといつても過言ではない。

前述した山口・小郡の合併は中核都市構想に先鞭をつけるものとしての意義があり、山口・小郡に欠ける工業生産機能については、佐波川流域に拡がる大平野も、三田尻港をもつ防府市

との合体によって完璧となる。それに、合併による相互補完はそこに投じられる投資効果を幾何級数的に高め、中核都市実現による県内都市群との総括的連

けいが容易となるのはもちろんそれらの消費、生産活動による恩恵や、うま味を広島、福岡の大都市に吸収されるという不利も防止できる。

小郡町上空から陶・鑄銭司をのぞむ



小柳さんは、「交通事情の拡充で、山口・小郡は一つという意識は、互いの住民の中に育ちつつある」と指摘する。空からみる山口・小郡は一つになっています。

保守性からの脱皮

地域・社会開発には、住民の

その結果、山口は鉄道の主要幹線から外れ、交通不便を理由に県庁移転も再三にわたってもあがった。視野の狭い現状執着の保守性が、ふるさとの発展をばげみ、悔を千載に残したといえる。

明日の山口市

近時のモータリゼーションの発達で、交通様式も鉄道から道路へと、そのウェイトが高まりつつある。山口市に接点をもつ国道二号、九号、二六二号、三七六号、それに自動車新幹線といわれる中国自動車道の山口―鹿野間が、五十五年の開通、のこる広島県千代田―鹿野間が五十七年に開通となり、中国自動車道全線の開通となり、盆地山口の様相も大きくひらけることであろう。

「市民として 未来図を描きたかった」

小柳三次さんは、防府市の生れ、昭和二十一年に山口市に転居して、中国電力に勤務、主に送電線の設計などの業務にたずさわってききました。

中国電力を退社後は、中国電気保安協会山口支部の保安技師。同協会は、電気関係の安全のコンサルタントを主業務とするところだ。

「人間も五十年といえは、公私ともに重大な責務を背負



小柳 三次 さん

う時期です。山口市の現在も、その時期といえるのではないのでしょうか。私なりに、一市民として、県都・山口市の未来図

を描いてみたかった。これが論文募集に応募した動機です」と話されます。

小柳さんは、もともと、「まちづくりには、関心が深い方」とおっしゃる。新聞のスクラップは若い頃から続け、まちづくりに関係した講演、講習などは、つとめて出席しているといわれます。

この応募論文は、書き上げるまで、約一カ月かかったそう。基礎資料の調査に、県立山口図書館に五回は行ったということです。

「時代の流れは、往時の十年

がいまの一年に相当するほどのスピードで進展していると思えます。山口市民は、義理堅く、人情に厚いといわれる反面、新しい動きに容易にとけこめない保守性も持っているとの厳しい批判もあるようです。この保守性をお互いに脱けだし、時代をみる目をもつことが、必要ではないでしょうか」と静かな口調で話されます。

こう語られる小柳さんの頭の中には、描かれたビジョンがかけまわっているような印象でした。

環境変化を伴うのが常である。それによる利害の対立が生じ、計画遂行に思わぬ障害となる例が枚挙にいとまがない。公権、私権ともに尊重されなければならぬことはもちろんであるが行政と住民とが連帯と協調の上になたって、時代のすう勢を見誤まらないことが肝要である。

明治三十年代に、山陽鉄道（現在の山陽本線）が広島から防府―山口―下関のルートで建設が予定されていた。これを聞いた山口の住民、とくに商店、旅館業者などが客足の減少を理由に猛反対した。そこで、ルートを山口から小郡に変更して建設された。

中核都市構想も、交通網の充実により、一日の生活圏がよりいっそう拡がり、山口、防府、小郡の距離は、著しく縮まり、有機的な連けいに大きく近づけることになる。

県都としての山口市も、あたにかいふるさとづくりをめざす山口県の施策に整合し、生活道路の新設改修、河川の改修公園化、上下水道の整備、治山治水のダム構築など、近代文化都市としての機能具備が計画され、実行に移されているものも少なくない。美しい自然、調和した環境のもとに山口市の発展を期待したい。



家族ぐるみで加入しましょう 受け付け三月一日から

交通ラッシュの九号国道、事故の危険はいつもつきまといま

■末永さんの場合

末永峻義さん(42・吉敷)、県庁勤務。昨年十月、国道九号線仏教会館前で、追突事故にあり、いわゆる「ムチ打ち症」で、一か月の入院加療を余儀なくされました。

末永さんは、市民交通災害共済が始まって以来、毎年家族ぐるみ加入しています。もちろん

今回の事故で、入院療養共済金が出ました。

「現在では、交通災害共済の加入は、ぜひ必要。特に、子供お年寄りなど、収入のない者は安い掛金です。末永さんは、このほど、共済金の一部を市社協に寄付されました。」

■制度の内容は

一人につき年額四百八十円(途中加入の場合、月割計算)の掛金をかけ、交通災害共済に加入しておきますと、もし交通事故にあったときは、上表のような共済金が支給される制度です。

この制度に加入できる人は、市内に住んでいるか、市内に勤務している人ならだれでも加入できます。

なお、この共済期間は、四月一日から

翌年三月三十一日までとなっています。

■加入の実績は

昭和五十三年四月一日から、十二月三十一日まで、「市民交通災害共済」に加入した人は、二万六千九百四十五人で、市民の約四人に一人が加入されています。

このうち、末永さんのように不幸にして交通事故にあわれ、共済金の給付を受けた人が、百二十六人おられ、八百三十万円が給付されています。

■加入の手続きは

今年も市民交通災害共済の加入手続きが三月一日から始まりました。今年の四月一日から来年の三月三十一日までの共済期間のものです。

手続きは簡単、「市民交通災害共済加入申込書」に、住所、氏名、男女、年齢を記入し、それに掛金をそえ、市役所公害交通課、または出張所へ提出すればよいことになっています。

なお、町内、部落などで一括申し込みをされるところがあります。それらのところは、それを利用されると便利です。

また、市役所公害交通課では三月一日から三十一日まで、市役所正面玄関で、特設受け付け窓

口を設けておりますので、ご利用ください。
交通事故は、万一の事故に備えて、現在加入している人はもちろん、未加入の人、ぜひこの機会に加入されるようおすすしめします。

■共済金請求

手続きは

事故が起ったときは、自損事故でも、すぐ警察署に届け出てください。交通事故証明書のなものは、給付の対象になりません。

請求は、請求書、事故発生通知書、または交通事故証明発行委任状、医師の治療証明書、死亡の場合は、死亡診断書のほか、受取人の戸籍謄本・印鑑証明をそえて請求してください。

なお、市民交通災害共済の問い合わせは、市役所公害交通課 ④二一四一一内線二七一、または、各出張所へ。

無料法律相談

三月十二日開く

とき 三月十二日午後一時三十分から四時まで
受け付けは午後一時から三時まで

ところ 市民会館内中央公民館視聴覚室

対象 山口市市民市が、隔月一回開くもので、弁護士二名が、法律上の問題について、何でも気軽に相談に応じます。



■県議選

選挙人名簿の縦覧を行います

四月八日の県議会議員選挙にあたり、新たに選挙人名簿に登録される人の名簿を、次のとおり縦覧します。

- 日時 三月十四日～十八日 午前八時三十分から午後五時まで
- 場所 市役所内山口市選挙管理委員会事務局
- 登録される人 昨年の十二月十二日以前から現在まで引き続き山口市の住民基本台帳に登録されている人のうち、新成人および昨年六月二日以降に転入された人

関覧 各出張所でも関覧はできます。

不在者投票制度

とは

不在者投票とは、投票日の当日、法律で定められた正当な理由で投票に行けない人が選挙の告示日から投票日の前日まで行うことができる例外的な投票です。

そして、その理由とは、次のようなものです。

自分の投票区外で、仕事や勤務に従事していること
やむを得ない用務や事故のため、山口市外に旅行または滞在中であること
病氣や妊娠、老すいなどのため、歩行が著しく困難であること

指定病院や老人ホームなどで行う不在者投票を除き、その理由に該当するかどうかについては、市選挙管理委員会委員長の認定を得なければなりません。
そのため、理由を具体的に申し立て、その申し立てが真正である旨の押印した宣誓書を提出することになります。

記載した投票は、自らの手で投票用封筒に入れて封をし、さらに不在者投票用封筒(外封筒)に入れて封をし、その表面に署名して提出します。

県議会議員選挙の場合には、県内市町村へ転出して四か月に満たない人や、昨年十二月十三日以降に県内市町村から転入された人は、前住地の選管へ不在者投票を請求し、現住地の選管で投票することができ、場合もありますから、関係の選挙管理委員会事務局へお問い合わせください。
市選挙事務局の電話は、山口二一四一一です。

共済金額

死亡共済金	交通事故で死亡したとき	50万円
療養共済金 (就業不能)	入院したとき	1日につき 1,000円
	10日以内	7,000円
	11日以上	9,000円
	21日以上	12,000円
	31日以上	17,000円
	41日以上	22,000円
	51日以上	27,000円
	61日以上	32,000円
	71日以上	37,000円
	81日以上	42,000円
	91日以上	47,000円

(7)



▲宮野が4連勝

第30回市駅伝大会が1月29日、市民会館前から宮野、仁保を通って県農業試験場までの22.5kmのコースで、79チームが参加して開かれました。今年は地域、職域の1部、学生の部で大会新記録が生まれ、地域の部では、宮野が4連勝をしました。



▲9人編成のサッカー試合

子供に人気のあるサッカーを、大人もやろうと、2月4日陶地区サッカー大会が8チーム参加して開かれました。多くの部落から参加できるようにと、1チームを9人で編成、日頃サッカーに縁のない人のチーム同志の試合、見物人も一緒になって楽しく試合を進めました。



▲ミニ・ロードレース大会
大殿地区子ども会ロードレースが二月十八日、小学四年生以上の男女七十四人が参加して、サビエル公園で開かれました。男子は二・二km、女子は一・七kmに挑戦、悪天候の中、懸命にガンバッテいました。



▲文化財防火に備え、防火演習

市消防署と消防団平川分団は、文化財防火デーの一月二十六日、平川・広沢寺で防火演習をしました。本堂に延焼中の火事も、出火の通報で、消防車二台が駆けつけ、またたく間に長いホースをつなぎ、約十五分で火を消しました。



▲新入生と母の交通教室

二月初旬から新入生を対象に母と子の交通教室が、各小学校で開かれました。小学五年生が新入生に付き添って、横断歩道の渡り方などを勉強しました。(写真は二月十六日白石小)



同和問題を考える

去る二月三日・四日、一泊二日の日程で、三和町ふしの会館において、「青年と同和問題」というテーマで、同和教育青年指導者交流研修会を実施しました。

この研修会には、山口市青年団連合会会員と対象地区青年、男女合わせて二十五人が参加しました。

その中で話し合われた内容のいくつかを紹介してみたいと思います。

▲「差別」することがよくないことは、誰れでも知っています。問題は差別がなくするための実践があるかどうかということです。

差別は人間によってつくり出されるもので、人間によってつくり出された差別は、人間の力によって解決しなければなりません。

▲真に個人の人權が尊重される社会をつくり出していくためには、人權を侵害されている人びとの立場にたつて、社会の在り方を考え、総ての人が生まれてきてよかったと思える社会にしていかなければなりません。

▲同和問題を語り合える場を度々もつことがたいせつです。偏見をとり除き、同和問題の正しい認識をもつことに努力したいものです。

▲対象地区と地区外の青年交流はたいせつなものです。各自の体験や心情を発表し合い、理解し合うことで、問題点が明確になっていくものと思えます。

青年と同和教育

青年指導者交流研修をとおして

▲私たちが青年が、同和問題に直面したとき、同和問題を正しく説明できる知識をつけておく必要があります。例え一人の友でも傷つけてはなりません。等々。

▲現状を固定的に考えたり、個人の印象だけで物事を判断したりするのではなく、社会的な目を通して、発展的に考えることは、若い世代の特徴です。若い力で、みんなの幸せを願いたいものです。

▲自分がおかれている社会的立場で、問題を出し合い、話し合い、気づき合うことによって、みんなの問題とし、みんなの力で解決していくことを、青年の若さではないでしょうか。

▲私たちが青年が、同和問題に直面したとき、同和問題を正しく説明できる知識をつけておく必要があります。例え一人の友でも傷つけてはなりません。等々。

▲現状を固定的に考えたり、個人の印象だけで物事を判断したりするのではなく、社会的な目を通して、発展的に考えることは、若い世代の特徴です。若い力で、みんなの幸せを願いたいものです。

不燃物の収集日

出張所地区

- 3月 平川14日、大内16日、小鯖19日、吉敷22日、大歳26日、仁保28日、宮野29日
4月 嘉川2日、佐山3日、陶・鑄銭司4日、名田島・秋穂二島5日

山口文化バスの会

別府・国東仏跡めぐり

- 日時 4月15・16日(雨天決行)
コース 関門橋=中津・福沢諭吉旧居=宇佐八幡宮=真木大堂=別府=国東仏跡めぐり(熊野磨崖仏・富貴寺)=竹田津=徳山港
会費 大人12,000円、子供8,000円
人員 90人
講師 郷土史家 内田伸氏
申し込み 4月5日までに、山口市葵2丁目市交通局内山口文化バスの会事務局へ。定員になり次第締切り。なお会費を4月5日までに送金のこと。

月間資料展

「茶の本」

県立山口図書館

平安初期からの茶に関する本、約50冊を3月1日から30日まで、県立山口図書館の2階に展示。

職業(組織と機構、実務、執務態度)

映写会 県視聴覚センター

- 日時 3月10日午後1時から
会場 後河原 県視聴覚センター
プログラム 部下を生かすためのしかり方、ほめ方。女子社員の活力をひき出すためには。職場でのエチケット。職場での執務態度
入場料 無料

映画「翼は心につけて」の上映

- 1人の少女が骨肉腫とわかり、短いのを燃やし続けた映画
日時 3月17日午後2時、4時40分、7時15分から、3回上映
1・2回には「さくらんぼ坊や」も同時上映
場所 市民会館大ホール
前売券 大人900円(当日1,100円)、大学・高校生600円(当日800円) 中学・小学生400円(当日600円)
主催 映画「翼は心につけて」を観る会

国鉄

引越し相談所を開設

国鉄では、春の引越しシーズンをひかえ、国鉄コンテナでの引越し相談所を設けています。申し込みは、電話1本で、めんどろな手続きは不要です。

申し込み先 山口駅@山口2-0662
小郡駅@小郡2-0018



(一昨年同会の佐山小)

- 山口大学混声合唱団
電子オルガン
新谷敏広、三宅朋子、野原富美子
ピアノ 武本扶美枝、鳥谷明美
バイオリン 豊嶋玲子
独唱 平川留美子
吹奏楽 山口高校

あの名演奏をもう一度
第六回 市民コンサート

三月二十一日

市教育委員会とやまぐち市民文化の会では、来る三月二十一日午後二時から山口市民会館大ホールで、第六回市民コンサートを開きます。このコンサートは、昭和五十三年度中に行われた各種の音楽コン

クールで優秀な成績をおさめた市民や団体を迎え開く音楽会です。入場料は無料、どうぞ、市民の合唱、独唱、演奏による音楽会を鑑賞してください。なお、出演される個人・団体は、次のとおりです。合唱 佐山小、野田学園高校、山口大学混声合唱団

取り引き・証明用の計量器
定期検査を行います

取り引きや証明用に使われている計量器(はかりなど)は、毎年1回定期検査を受けなければなりません。県計量検定所では、次のとおり、計量器の定期検査を行います。該当の計量器は、最寄りの場所で検査を受けてください。検査には、印かんと手数料がいらいます。

Table with columns: 日(Date), 時(Time), 場(Place), 所(Location). Rows list inspection dates and locations for various scales.

消費問題の意見・要望をきく

市消費生活モニター募集

市では、昭和五十四年度の消費生活モニターを、次のとおり募集します。モニターの仕事は、市が依頼する調査や質問に応じたり、研修会などに参加していただくほか、消費生活上の苦情や意見を随時連絡いただくものです。将来、消費生活を勉強しようとする人や、消費問題に関心のある人の応募をお願いいたします。募集人員 三十人。申し込み 市役所商工観光課、または、各出張所備え付けの申し込み用紙で、三月二十八日までに、亀山町二-1-1 山口市役所商工観光課へ。決定は三月末に本人に通知。

市民ミニ・サッカー大会

- 日時 三月十一日午前九時から
場所 糸米一丁目・山口高校体育館
種目 一般・中学生・チーム編成 一チーム五人、交替選手五人
参加料 無料
申し込み 所定の申し込み用紙で三月八日まで、亀山町二-1-1 山口市役所管理課山根幹夫さんへ

Table with columns: 3月の休日当番医, 外系, 内科. Lists on-call doctors for various clinics on specific dates.

診療時間は8時30分から17時30分

歯科は県口腔センター 吉敷下東(3・1820)へ。9時から15時